

九州「道の駅」マップ



地方創生に寄与する「道の駅」の取り組み例 ～ 九州「道の駅」128駅 ～



「道路利用者へのサービス提供の場」から
「地域の課題を解決する場」へと成長
そして、地方創生の拠点へ始動開始！

「道の駅」の目的

- 道路利用者への安全で快適な道路交通環境の提供
- 地域の振興に寄与

「道の駅」の機能

- 休憩機能** ・24時間、無料で利用できる駐車場・トイレ
- 情報発信機能** ・道路情報、地域の観光情報、緊急医療情報などを提供
- 地域連携機能** ・文化共用施設、観光レクリエーション施設などの地域振興施設

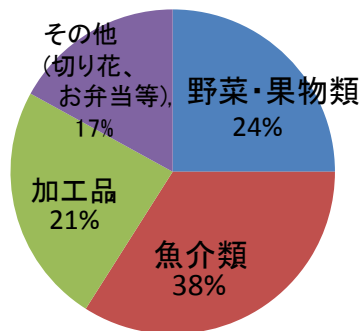
「道の駅」とは

道路利用者のための「休憩機能」、道路利用者や地域の方々のための「情報発信機能」、そして「道の駅」をきっかけに町と町とが手を結び活力ある地域づくりを共に行うための「地域の連携機能」、の3つの機能を併せ持つ休憩施設。

「道の駅」による地方創生の拠点の形成

「道の駅」は、元々道路利用者が立ち寄るトイレ・休憩施設として生まれ、全国で1,079駅があり、「道の駅」自体が目的地となり、「まち」の特産物や観光資源を活かして「ひと」を呼び、地域に「しごと」を生み出す核へと独自に進化してきました。この進化する「道の駅」の機能強化を図り、「道の駅」自体を地方創生の拠点とすることを提案。

■地域経済



▲取扱商品の比率

■農水産品など取扱商品の99%が地元産品

「道の駅」むなかた

■観光



■外国人へのおもてなし

「道の駅」阿蘇 重点「道の駅」

■「道の駅」で自然体験へ発展
○年間体験者約1.3～1.5万人
干潟体験(ミカゲリピック(有料)随時開催)



「道の駅」鹿島 重点「道の駅」

■福祉



▲生涯学習 そば作りの様子



▲宅配の様子

住民サービスの模範!!

住民主体で「道の駅」を地域の自治・交流活動の拠点として育て「小さな自治」を形成



▲注連縄づくり体験

■高齢者へ様々なサービス提供の場

「道の駅」酒谷 モデル「道の駅」

■文化



▼神楽公演

▲神楽フェスティバル

「道の駅」波野

▼九州唯一の文楽鑑賞劇場



▲文楽館劇場公演の様子

■地域の伝統文化を伝承する場

「道の駅」清和文楽邑

■防災



◆非常用電気室

◆貯水槽

◆防災倉庫

◆災害時対応トイレ



◆観光交流館



◆非常用電気室内部



■地域に必要な防災機能

地域防災計画に位置づけ必要な機能を整備

「道の駅」つの